

おおだて

市立総合病院・市立扇田病院

病院

だより

第8号

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなぐ広報誌です

2013.1

No. 8

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男
編集：大館市立総合病院 広報委員会
住所：大館市豊町3-1(総合)
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)
電話：0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>(総合)
<http://www.oogita-hp.jp>(扇田)

新年あけましておめでとうございます

明け行く新年の空に

みなさまの健やかなる一年をお祈りいたします



大



迎春



市立総合病院

院長
たて 館 博
ひろし

市民の皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

さて、ある雑誌の医療の再生に向けてという記事の中に、塩谷泰一高松市病院事業管理者の「東日本大震災の被災地医療の再生を考えるなかでは、“医療の再生は街の再生”、“街の再生は医療の再生”が基本的な認識である」という言葉がありました。安心して暮らせる街づくりには、安心して診療を受けられる病院が欠かせないということです。

本市も住民の高齢化が進行し、若い人達の人口も減っていくことでしょう。その事は、将来病院を守るべき看護師を含め、医療に携わる人達が減る事を意味し、今一番懸念しているところです。そのような思いでこのたび看護学生への奨学金制度を創設することにしました。

そこでこれをお読みになった子育て中の親御さんは、ぜひ子どもたちに伝えてほしいと思います。将来大館という街を良い街にするために良い医療者を目指してほしいと。そして、その子どもたちのためにもしっかりとした病院づくりに取り組むことをお誓い申し上げ、新年のごあいさつとします。



市立扇田病院

院長
おお もと 直 樹
な お き

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は扇田病院の常勤医師が8名から6名に減少するなど、医師・看護師が不足する厳しい状況の中での病院運営となりました。

当院では打開策の一つとして、昨年4月から内科と外科を一つに統合して診療効率を高め、患者さんを総合的に診療する体制を築きました。当初は戸惑ったかたもおられるようでしたが、「外科系の疾患も診療できる」ということが徐々に認知されてきたようです。

診療科の統合により外来患者数は若干減少しましたが、入院患者数の実績は23年度を上回るペースで経過しています。特に手術件数は23年度比で倍増し、病棟スタッフの意欲は今まで以上に高まってきています。

当院の健診部門は以前からご好評を頂いておりますが、昨年10月から内視鏡セット、腹部超音波診断装置などを増設して、人間ドックの受け入れ定員を増やしました。今後は「新しい扇田病院の顔」として、健診部門に力を入れていきたいと考えています。

新年も扇田病院らしい「地域に密着した心温まる医療」を提供していきたいと思っておりますので、ご支援をお願いいたします。

総合病院

新任医師紹介



泌尿器科

佐藤 天童

(さとう てんどう)

がんばりますのでよろしくお願い致します。



小児科

澤田 朋啓

(さわだ ともひろ)

地域のためにがんばります。よろしくおねがいします。



脳神経外科

久保 達彦

(くぼ たつひこ)

よろしくお願い致します。



泌尿器科

岡本 哲平

(おかもと てっぺい)

少しでも患者さんのお役に立てるように頑張ります。



産婦人科

水沼 慎人

(みずぬま まきと)

体育会系産婦人科医を目指してがんばります。よろしくお願い致します。



看護部から



昨年の4月から、相談支援センター内に退院支援担当看護師が2人配属され、医療ソーシャルワーカーとともに退院される患者さんの支援をしています。「退院支援」とは、患者さんが、退院後も安心して療養を継続することが出来るよう支援することですが、そのための医療ニーズを見極めるとともに、患者さんやご家族の意向・思いを傾聴して療養・

「退院支援
担当より」

少子高齢化と医師不足により、医療資源が限られる地域状況にあって、安心して療養するためには、医療と介護・福祉のサービス利用もとても重要です。私たちは患者さん、ご家族の意向を尊重し、退院後の療養生活を支援します。いつでも声を掛けてください。

相談支援センターには、退院支援看護師のほか、医療ソーシャルワーカー、地域医療連携担当スタッフがおり、医療費や公的助成制度など医療上の様々な相談やがん医療に関する相談、介護保険や福祉制度の利用に関する相談、セカンドオピニオンや転院など他の医療機関との連携に関するご相談を受けています。



紹介 します

脳神経外科



脳神経外科はその名の通り、脳と神経を扱う科です。脳出血、脳梗塞、くも膜下出血（これらをまとめて脳卒中と呼びます）、そして外傷や脳腫瘍などを主に診療しています。

午前中は外来と病棟患者さんの回診、診察。午後は手術や検査を行っています。

疾患や状態に応じて秋田大学や秋田脳研センターとも連携を図り、昨年導入されたドクターヘリも積極的に利用して、迅速かつ適切な医療を提供できるよう努めています。

また、昨年の春から外来には予約制を導入し、待ち時間の短縮を図っています。

もちろん予約のない方にも対応しますのでご安心ください。

しかしながらご存知の通り、脳神経疾患は緊急性が高く救急搬送も多いため、患者さんをお待たせしてしまうことが多い点をご理解ください。

嬉しいニュースとして、昨年10月から新たに一名の専門医を迎え、当院には3名の脳神経外科専門医が常勤しています。脳神経外科外来は、この3名と看護師2名で日々の診療を行い、近隣の病院とも協力しながら県北地域の中核病院としての役割を果たせるようこれからも頑張っていきます。

脳は一度壊れてしまうと再生することができない器官です。最近話題のIPS細胞が実用化すればそれも実現されるかもしれませんが…。

そんな脳ですから、何よりも壊さないこと（病気を予防すること）が最も重要です。血圧やコレステロール等の生活習慣病に注意を払い、できるだけ病院でお会いすることがないように。

しかし万が一、発症してしまった場合は早期に治療を始めて病状が悪化することを防がなければなりません。手や顔の麻痺、言語の障害など脳卒中を疑う症状が現れた場合は急いで病院へ向かってください。

「患者さんの声」より

当院に寄せられたご意見を、紹介していきます。



売店からコンビニに変更すべき

院内の売店は、形態、内容共に、外来・入院患者さんや見舞客のための営業内容に変更すべきでは？ 閉店時間も早い。できればコンビニにすべき。

(昨年9月に投函されたかたのご意見)



病院から

ご意見ありがとうございます。

当院では昨年9月まで2つの売店が営業していましたが、新たな売店が11月30日よりコンビニエンスストアとしてオープンしました。

年中無休で7時から21時まで営業し、病院に不適切な商品（お酒、タバコなど）を除いて、通常のコンビニエンスストアと同様の商品を提供しています。更に、宅配便の取り扱い、コピー・FAXなどのサービスを行うとともに、患者さんやお見舞いに来られたかたが休憩ができるイートインスペースを設けています。

今後とも、当院を利用される方の利便性向上を図って参りますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

中待合にいる患者さんへ、声掛けを・配慮を！

中待合の患者さんに対する配慮が足りないのでは？

- ①耳の遠いかたの場合、中待合へのアナウンスが聞えない場合がある。
- ②車椅子の患者さんが自分でドアの開閉をしている。
- ③シルバーカーの患者さんも自分でドアの開閉をしている。

看護師が少ないせいでしょうか、患者さんを見たり、声掛けをすることでよくなると思いますが…。

(昨年6月に投函されたかたのご意見)



病院から

ご意見ありがとうございます。

病院には、病気で具合の悪いかた、不安を感じているかた、悩んでいるかたなど様々な患者さんがいらっしゃいますが、そのような患者さんを支援するために、少しでも不安やつらいお気持ちを和らげるための支援・配慮が必要であると考えています。

そのためにも、ご指摘いただいた点について真摯に受け止め、お声掛けや気配りある対応に努めていきます。

なぜ2階エレベーター前のトイレしか使用できないのですか？

夜間・休日はどうして2階のエレベーター前のトイレしか使用できないのですか？

(昨年8月に投函されたかたのご意見)



病院から

ご意見ありがとうございます。

外来にあるトイレには、利用されたかたの具合が悪くなったときなどに、病院職員を呼ぶための緊急呼び出しボタンを取り付けています。この呼び出し先は、トイレから一番近い外来診療科になっています。それは急変されたかたへいち早く駆けつけることができるようにするためです。

しかし、休日や夜間は、外来診療科には職員がいませんので、呼び出しに対応できません。こうした中で、2階エレベーターホール横のトイレだけが、休日夜間受付に呼び出しが接続されていますので、休日や夜間に利用されたかたの具合が悪くなった場合にボタンを押していただくことで、休日夜間受付の職員が駆けつけることができます。

以上のことから、休日や夜間にトイレを利用される場合には、ご不便をお掛けしますが、利用されるかたの安全を確保するため、2階エレベーター横のトイレをご利用されますよう、願います。

駐車場の混雑がひどいです。国道にまで入場待ちが待機している状況です。なんとかしてください。

駐車場の混雑がひどいです。特に午前中11時頃までは国道まで入場待ちの車が待機し、大渋滞になります。なんとかしてください。

(昨年8月に投函されたかたのご意見)



病院から

ご意見ありがとうございます。

当院の駐車場をご利用の際には、駐車可能台数が十分でなく、混雑や入場待ち等でご不便をおかけし、誠に申し訳なく、おわび申し上げます。

このような混雑を解消するために、国道7号線側の駐車場の拡張工事を行い、昨年9月27日より新たに50台分の駐車スペースを確保し、合計で403台の駐車が可能となっています。

今後とも、駐車場の運営につきまして万全の警備体制により安全確保に努めて参りますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

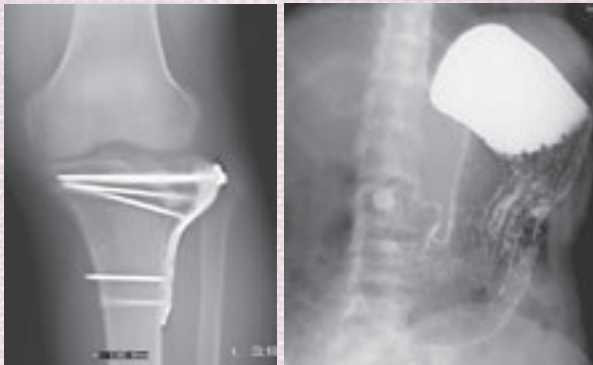
新X線 テレビ 装置を 導入 しました



総合病院では、昨年10月に最新の「X線テレビ装置」を導入しました。今まで使用していた機器との違いは、画像がデジタル化され、色々な加工ができるようになったことや、断層撮影（トモシンセシス）ができるようになったことです。

レントゲン写真では、微細な骨折が発見できないケースがあったり、CT検査では精度は高いものの被ばく線量が多いという欠点があります。その点、トモシンセシスでは、撮影領域以外の被ばくを抑えながら微細な骨折などの発見ができるようになり、また、体内に金属などがある部位の断層写真は、CTやMRIより鮮明な画像となります。

さらに、17インチの大視野・高画質であるため、1回の撮影で複数の画像を収集できることや、立位撮影で自然負荷をかけた状態など自由な体位で観察することも可能なため、整形領域をはじめ様々な分野での診断や治療に大きな役割を果たしています。



人工膝関節の
断層撮影画像

胃の透視撮影画像

お薬のいろんな疑問にお答えします。

薬のQ&A

お持ちですか？お薬手帳(その1)

お薬手帳はあなたに処方されたお薬の名前や飲む量、回数などの記録（薬歴）を残すための手帳です。お薬手帳の“5つの「い」こと”について、次号と2回に分けて説明します。

1つ目の「い」 医療機関にかかる時は必ず持って行きましょう

- ・薬の重複やよくない飲み合わせを未然に防止できます。
- ・同じ薬による副作用の再発を防止できます。
- ・薬の使用の記録があることで、より安全に薬を使用することができます。

2つ目の「い」 一冊にまとめましょう

- ・飲んでいる全ての薬を「1冊で」記録することが大切です。病院ごとや薬局ごとに、別々のお薬手帳を作らないようにしましょう。

次号では、3つ目から5つ目の「い」いことを説明します。お楽しみに！



ボランティア 活動紹介

スタッフ
募集中です！



当院では、現在3人のボランティアが活動しています。患者さんの案内や受診手続きの手伝い、車椅子の介助など、優しい病院づくりを目指して奮闘中です。

平日の診療時間帯には、千人以上の患者さんや付添い家族のかたなどが来院されます。両手いっぱい入院の荷物を抱えたかた、具合が悪く足元のおぼつかないかたなど、患者さんの状況にあわせてさりげなくお声掛けをしています。時には診察後の患者さんの愚痴を聞いたり、世間話にお付き合いしたりと、患者さんとのやりとりもまた楽しいひと時でもあります。事情により退会したスタッフの中には、患者さんの安心を第一に車椅子の点検、整備に誠心誠意取り組んだかたもいます。今やボランティアは病院にとってなくてはならない存在となっています。

当院では、ただ今ボランティアスタッフを募集しています。患者さんの心に寄り添える活動を心掛けていますので、関心のあるかたはお気軽にお問い合わせください。

図総合病院相談支援センター ☎42-5370

扇田病院です!

人間ドックのおすすめ

当院では、人間ドックに必要な上部消化管内視鏡、腹部エコー等の医療機器を今年度新規に購入しました。これにより受け入れ体制が整備され受診枠を増やして、地域の皆さまの健康管理に努めています。

病気は、自覚症状が無いまま進行し重大な結果を招く場合があるため、早期発見が重要です。そこで、地域の皆さまへ、年に一度の「人間ドック」受診をおすすめします。



ドック棟の様子です。



1泊2日人間ドックのご案内

- ▼毎週 火～水曜日
時間 9:00～翌日12:00
- ▼オプション検査を併せて受けることができます。
- ▼費用・・・62,000円(税込)

日帰り人間ドック

- ▼毎週 月・木・金曜日
時間 8:15～12:00
- ▼半日で必要な検査をコンパクトに受けることができます。
- ▼費用・・・37,300円(税込)

健診コースの内容等について

- ▼基本検診には、胃がん検診、大腸がん検診がセットになっています。
- ▼胃がん検診については、「胃カメラ」と「バリウム透視」のどちらかを選ぶことができます。
- ▼オプション検査も各種ありますので併せてお申し込みください。
- ▼子宮がん検診については、月2回月曜日の午後が検診日となります。
- ▼乳がんX線検査(マンモグラフィ)は、女性の放射線技師が対応します。
- ▼予約制ですのでお申し込みが必要です。また、詳しい内容等については担当者にお問い合わせください。

申間 ☎0186-55-1255

生活習慣病予防に 心掛けて いますか?



さあ、みんなで健康チェックをしてみませんか!
「比内とりの市」会場でお立ち寄りください。

扇田病院では、比内地域の冬の一大イベント「比内とりの市」会場において、生活習慣病予防コーナーを右記のとおり設置し、院外活動を行います。

今年度で4回目となりますが、医師のほか、医療スタッフが健康管理についてアドバイスを行います。

日頃、体の不調を感じていても仕事が忙しく病院にかかる機会が少ないかた、また、健康に過ごされているかたもどうぞ気軽にお立ち寄りください。

- ◆日時 平成25年1月27日(日) 9時～15時
- ◆場所 比内とりの市会場内 比内体育館
- ◆内容
 - ①看護部 → 血圧、血糖値測定、身長、体重
 - ②薬剤科 → 薬相談
 - ③臨床検査科 → 肺機能測定
 - ④放射線科 → 骨密度測定
 - ⑤リハビリテーション室 → 運動コーナー
 - ⑥栄養科 → 食事相談

外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

～総合病院～

受付時間	初診 午前 8:30～11:00	再来 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
呼吸器・循環器内科	新患	10:30まで	10:30まで	10:00まで	10:30まで	10:30まで	呼吸器の新患は月・火・金。新患は原則として紹介状が必要です。
	再来			休診			
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。
内分泌・代謝神経内科			甲状腺診療		甲状腺診療	10:00まで	10:00まで
小児科							
神経精神科							
外科							
産婦人科							
眼科		10:00まで	9:30まで	10:00まで	9:30まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。
耳鼻咽喉科							
整形外科		10:00まで					専門外来は予約制。
泌尿器科		予約のみ					新患は原則として紹介状が必要です。
皮膚科				休診	休診		
脳神経外科	新患	10:30まで					新患は原則として紹介状が必要です。
	再来						
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。
歯科口腔外科・矯正歯科							再来は予約制。

※新患はできるだけ紹介状の持参をお願いしています。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科・外科	午前	8:30～11:00					
	午後	急患のみ					
	夕やけ(午後)	5:00～7:00	休診	5:00～7:00	休診	5:00～7:00	
整形外科	午前	休診	休診	8:30～11:00	休診	8:30～11:00 (新患・予約のみ)	
耳鼻咽喉科	午前	休診	8:30～11:00	休診	休診	休診	
眼科	午前	8:30～11:00					
	午後	検査のかたのみ					

総合病院・扇田病院にお越しの際は公共交通機関の利用を！

総合病院では、国道7号線側の駐車場を拡張し、50台分のスペースを確保しました。しかし、冬季間について総合病院、扇田病院の駐車場は、除雪で寄せた雪などのため駐車場が狭くなります。混雑を避けるため、なるべく公共交通機関をご利用ください。

問 総合病院総務課 ☎42-5370 扇田病院総務係 ☎55-1255



患者さんとそのご家族が病気と向き合いながら、同じような境遇の方々と情報交換を行う場として、患者会が行っている取り組みをご紹介します。

糖尿病患者会(桂糖会)^{けいとう}

患者会は、昭和46年4月から始まり、内分泌・代謝・神経内科医師の指導の下、勉強会と食事教室を中心に現在は年3回活動しています。会が発足し、今年度で41年目、教室は142回目になりました。今年度の実施内容と今後の予定をご紹介します。



総会及び第141回院内教室(平成24年6月21日)

●先生の講話…「運動療法」について ●食事会…「塩麴について」

季節の食材や話題の調味料を使った調理法や食べ方について勉強しました。会では、患者同士の意見交換も盛んに行われていました。

北部エリアで第142回院外教室(平成24年9月21日)

●講話…「新しい薬物療法と食事療法の話題」 ●手芸教室…エコクラフトによるかごづくり
●食事会…「外食を上手に楽しみましょう」

講話を聞いて頭を使い、手芸で手先を使い、ラジオ体操で体を動かすと充実した内容でした。昼食は、お弁当を食べながら、外食の選び方についてを勉強しました。

第143回院内教室の予定(平成25年2月開催予定)

●講話…未定 ●食事会…「バイキング」に挑戦

自分の必要エネルギーに合わせて、バイキングでの主食・主菜・副菜の選び方を勉強します。

会員募集

毎年5月頃会員を募集します。年会費3,000円(月刊誌「さかえ」込み・1冊525円)

入会希望のかたは、来年度の募集期間内にお申し込みください。総合病院栄養科 Tel42-5370 まで

食事と 4 病気予防

新感覚お正月料理



食事のポイント

病気の予防には、日々の食生活が大切です。今回は、お正月らしい料理のなかで、カルシウムを摂取できる献立を紹介します。

*黒豆のおすし *モズクのすまし汁
*冬瓜のうす葛煮 *だて巻き
*たたきごぼう(白胡麻) *梅れんこん
*栗きんとんチーズ入 *ナッツ入りごまめ

・エネルギー	650kcal
・たんぱく質	25g
・カルシウム	300mg

こんなかたはカルシウム不足に注意が必要!

- インスタント麺、清涼飲料水、甘いお菓子が多い
 - 肉は好きだが、野菜は嫌い
 - 小魚、乳製品を食べない
 - 利尿剤や下剤をよく飲む
 - 胃、肝臓、腎臓が弱い
 - 日光に当たらない
 - 妊婦、授乳婦、発育期、更年期、高齢者
- カルシウムの1日の摂取目標量は、600mg以上です。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。これまで冬の病院だよりは12月に発行していましたが、少し雰囲気を変えて皆様に新年のご挨拶を試してみたい。そのような考えから今回は1月1日の発行としました。新年の空が明けて行きます。冬の朝、総合病院のたくさんの窓からあふれる光が織り成す光景は、童話のように神秘的です。早起きする機会があればぜひご覧下さい。皆様の健やかなることを祈っております。良い一年になりますように。(編集委員長 蒔 苗 公 利)